学校番号	3001

令和２年度　工芸科

教科	芸術	科目	工芸Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	工芸１　（日本文教出版）						
副教材等	な　し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作るということはとても楽しいことです。種々の材料や道具を駆使して生活に役立つモノ作りに取り組みましょう。
　1学期…木彫を中心に。家で使用するもの。
　2学期…「あかり」の制作。校内で利用できる案内板、表示板の制作。
　3学期…造形三科展の開催。
正しく道具を使い、いいモノを作りましょう。

２　学習の到達目標

ものづくりを通じ、その加工法、制作するものの美的要素、構造、制作手順など実習を通して学習し、工芸を愛好する気持ちや豊かな感性を身につける。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:工芸への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	工芸の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や観賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な工芸の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	工芸作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	工芸ってなんだろう	【観賞】 ・オリエンテーション 教科書を観賞し、多様な表現形式について学び、「工芸Ⅰ」の学習イメージを持つ。	○	○			a:工芸の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:工芸作品などのよさや美しさを感じ取り、工芸の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	ハンコをつくる	・消しゴムはんこ 木彫の準備段階として彫刻刀の使い方を学ぶ。	○	○	○		a:ハンコの図柄の表現に関心を持ち、制作に積極的に取り組もうとしている。 b:与えられた条件を生かし、文字にこだわらない自分らしさの追及に取り組む。 c:道具の使い方を正確に行えるよう努力をし、彫りによる表現を生かしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	木彫を学ぶ	【木彫】 ・表札の制作 材料:はがき大の桂材 自身の部屋や場所を示す表札を作る。	○	○	○		a:扱う素材によって異なる技法や表現方法に関心を持ち、制作に主体的に取り組もうとしている。 b:条件と制約を考慮し、自分の表現をとりいれ、制作に取り組む。 c:彫刻刀という道具の特性を生かし、彫りによる表現を生かしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
二学期	あかりをつくる	【ライティングデザイン】 ・材料は竹ひごと和紙。 高さを最低 1mと設定し、強度を踏まえたかたち作りを考える。	○	○	○		a:素材の特徴を理解し、特性を生かした制作法の表現に主体的に取り組もうとしている。 b:その特徴を生かした条件や美しさ、形などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:制作物の構造を理解した上での、表現方法を行っている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	案内板、表示板の制作	【サイン】 ・公共の場でのサインを考える。 公共性と自身の美意識との接点を探り、実際に校内で使用することを前提に制作する。 材料の選択とそれに合った制作工程や技法の確認。	○	○	○		a:生活や社会を心豊かにする工芸の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:使用する場所と形態の関係を踏まえたデザインを考え制作する。 c:よりよい素材を考え、表現に活かしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
三学期	造形三科展にむけて	【鑑賞】 ・出展作品の選択(複数可) ・出展作品の点検、補完。 ・ミニ展覧会の開催。 芸術選択の内、書道・美術・工芸の造形部門選択生徒の作品展。	 ○ ○ ○			 ○ ○ ○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート 活動の様子

※　表中の観点について　a: 工芸への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。